

安全保障関連法に反対し、廃止を求めます

2015年9月19日、多くの国民が反対する中、参議院で、安保関連法が強行採決されました。

私たち、安全保障関連法に反対する大阪千代田短期大学有志の会は、安保関連法の廃止を求め、ここのその意思を表明します。

その理由を3つ上げます。

1. この法は、自衛隊が他国へ行って戦争をすることができるようにする法です。大阪千代田短期大学は、保育や福祉の仕事の担い手を育てる大学です。人の命を守り育て、その全面的な発達を保障していくことに責任感と誇りを持つ人材の育成をめざしています。戦争は、どんな理由の下に行われる戦争であっても、人の命を脅かし、健全な発達を阻むものであり、決して許されることではありません。
2. この法の内容は、日本国憲法に違反するものだからです。憲法に違反する内容を、内閣の解釈だけで良しとしていくならば、今後憲法は何の力も持たないものになってしまいます。そもそも、憲法は、一人一人では力を持たない国民の自由や人権を、国家権力（つまり政府）が奪うことがないように作られた国の基本となる決まりです。その憲法を実質意味のないものとするのなら、今後、なんでも政府の思うとおりになるということです。
3. この法には、8割近い国民が納得しておらず、多くの国民が国会前や全国で直接反対の声をあげました。それにもかかわらず、国会の中の数の論理だけで、この法は強行採決されました。特に参議院特別委員会で採決される場面は、議長の声さえ聴きとれず、議論の場とは程遠いものでした。話し合いの中で意見の一致点を作っていくのが民主主義です。民主主義が踏みにじられ採決されたこれらの法を認めることはできません。

2015年10月2日

安全保障関連法に反対する大阪千代田短期大学有志の会
呼びかけ人

堀内 達夫
寄 ゆかり
鱒坂 はるよ
森 大樹
本田 和隆
中嶋 理生
阪田 啓代
葛目 巳恵子
中井 友子
石井 志津代
今西 利美
吉永 眞弓
高橋 眞保子

賛同者 50名

(呼びかけ人含む。11月30日現在)